

平成26年

希望の家だより

3月号

今年の冬は例年になく大雪で、寒さも厳しい日々が続きましたが、利用者の皆さんは元気に通所し、それぞれの作業に取り組んでいました。

昨年は「希望の家」の諸活動につきまして、多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。本年もご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

NPO法人作業所希望の家のホームページ開設

希望の家は、昨年4月に就労継続支援B型事業所として運営を開始してから1年がたちました。『地域との深い結びつき』『働く楽しみ 生きる喜び』『一人ひとりの輝く笑顔』『寄りそい支え合う仲間』をモットーに利用者の立場に立った作業所として歩んでいます。



この度、希望の家のホームページを1月20日に開設しました。下記のURLですをご覧ください。

<http://www.kibouno-ie.org>

「希望の家 新年会 盛会裡に終了」

1月24日（金）、あゆみ荘でボランティアさんの参加を頂き総勢20名で希望の家の新年会を行いました。社会福祉に携わっていくには、日頃から支援をいただいているボランティアさんや地域のみなさんと常に仲良くまとまっていくことが大切です。

お互いに積もり積もった話やカラオケなどで盛り上がり、とても楽しいひと時を過ごしました。



50名もの会員加入に感謝！

希望の家は多くの方々に支えられて運営されていますが、25年度も当法人の趣旨に賛同されて17名の正会員と32名の賛助会員の皆様にご加入いただきました。役員職員一同心から深く感謝申し上げます。

今後も地域に根ざした障がい福祉サービスの提供に努めてまいります。

利用者の生活

作業所希望の家の皆さんは、冬期間は室内で手芸、皮細工、木工、陶器作り等色々な小物を制作しています。各自が能力を發揮し、それぞれの作業に自信を持って張り切って仕事をしています。

味わい深い陶芸作品

昨年4月から新たに陶芸作品の制作を始めました。

当初はタタラ作り、手びねり作り、紐作りなどの基本的な作り方で、利用者の思いの味がある作品が出来上がっていました。最近は粘土にも慣れ、ロクロ成形に挑戦し各々が楽しい立派な作品を作り上げています。出来上がった作品をお互いに鑑賞し合い、次へのステップとして出来栄を話しています。

暖かくなったら、今年も道の駅宇宙記念館前広場で、週2回(水曜日・金曜日)利用者の皆さんの作品を販売します。お立ち寄り下さい。



みんなで協力して除雪作業

今年は例年になく大雪で、毎日のように雪投げに追われていました。雪が降り積もった日は、利用者の皆さんで協力しあって玄関前の道路の除排雪をしました。秋に完備した融雪槽が大いに役立った冬でした。



通所希望者募集

障害にくじけず、前向きに頑張っている仲間やスタッフがあなたを待っています。私達は、いつでも温かく迎え入れています。ご一報下さい。

希望の家 0135-23-7115 担当 施設長 高橋 徹